

がんばってます！
まちのものづくり企業



地元に根付き技術を集積
ジーエスエレテック九州

オ
ワイパーク大村の二画に建
つ「GSエレテック九州」。G

Sエレテック(本社・愛知県の子会社として2006年に設立し、翌年から操業を開始しました。九州に進出した目的は「供給体制の確立」と「人材確保」のため。従業員238人のほとんどが地元での採用で、ほぼすべてが正社員です。九州で事業を展開するうえで重要な交通アクセスの利便性などが決め手で、大村市に立地しました。ここでは主に、自動車用部品のワイヤーハーネスを製造しています。ワイヤーハーネスとは、コンピューターとそれぞれのセンサーをつなぐ電線のことです。自動車の配線などには必ず使われている部品です。同工場では、さまざまな部位や用途に応じたワイヤーハーネスを、月に40万本、年間500万本製造し、高度な技術と厳格な品質管理で顧客からの信用を得ています。



常務取締役
谷川 昌明氏

「ワイヤーハーネスは人間でいうと神経や血管の役割」と話す谷川常務。工場の生産ラインにも、無人の搬送機や積荷の高さ制限など、こだわりのアイデアが施されています。「自動車部品は人命に係わる重要な製品です。絶対に不良品を出せません。よりよい製品を製造するため、チームワークを重視し、合理化・省人化を推進しつつも、人間らしさが息づく生産ラインで、社員が作業しやすい環境づくりに努めています。」と教えていただきました。

同社のグループでは大村での事業を拡大するため、工場の隣接地に「テクニカルセンター」を建設し、7月から稼働しています。これは、材料の研究や製品開発に向けた実験を行う施設で、研究者なども地元で雇用し育成していくそうです。海外にも複数の拠点を完備して、海外でも通用するものづくりに向けて準備を進めています。

谷川常務にこれからの目標を尋ねると「私たちが造る製品は、自動車には不可欠なものです。企業としても、地元にとって無くてはならない存在でありたい。大村に根付き、活性化に貢献しながら、ワイヤーハーネスを造り続けていきたいですね。」と思いを話されました。これからも、地域社会から信頼される企業づくりを目指していきます。



無人搬送機↑

社員さんからひとこと

interview

森 恵未さん 入社5年目

地元での就職を希望していた森さん。高校を卒業後、同社に入社しました。「絶対に不良品を出せないの、責任感を持って任務に当たっています。グループで力を合わせて楽しく仕事に励んでいます。」と話してくださいました。



(株)ジーエスエレテック九州
雄ヶ原町147-31 ☎④9050
常務取締役 谷川 昌明
社員数 238人